

県立学校は14日から再開となりました。



～ステイホーム週間の課題は済みましたか～

文責 学校長

1 14日(木)からの学校再開・学校継続が可能となるようにご協力を!

14日(木)からの学校再開が決定されましたが、再開までのこれから1週間の感染の状況や再開後の感染の状況によっては、またいつ休校措置に入るかはその都度判断されることとなります。本日から県内事業所への休業要請も一部の業種を除いて終了し、世の中も動き始めることとなりますので、これまでの自粛要請期間よりは感染のリスクは高まるのが予想されます。県の発表にもあるように「**学校関係者が感染者や濃厚接触者になった場合は当該校を休校とし、検査で陰性が確認できれば再開する**」という方針が示されています。再開しても「**薄氷を踏む**」ような学校生活・日常生活が続くこととなります。「**うつらない・うつさない**」生活を意識して、登下校・授業中・部活動中も原則マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、近接者・友人等との会話の自粛を心掛けてください。くれぐれも体調不良や発熱等、家族を含めて感染の疑いがある場合には登校を自粛してください。学校への連絡もよろしくお願いします。

2 5月13日(水)から予定していた中間考査は中止となりました。

来週の水曜日(5/13)から3日間の日程で、1学期の中間考査が行われる予定でしたが、長期にわたる休校措置で授業も実施できていないので、1学期の中間考査は中止といたしました。ただ、**教科によっては、授業時に課題テスト・到達度テスト・確認テスト等を実施できるようにしていますので、教科の先生の指示に従ってください。**

中間考査は中止となりましたが、いい機会ですので定期考査の対処法(テスト対策)をアドバイスしておきます。私の経験から言えば、各教科の試験範囲はそのテスト前日までにそれぞれ3回は見直したいところです。1日3科目×2h=6時間は確保したいところですが、1日2科目×2h=4時間が限界の人は10日前からスタートさせることが必要となります。くれぐれも直前の一夜漬けの学習にならないように、計画的に学習を進めましょう。

◆具体的な学習プラン例・・・※試験科目が**4日間で10科目実施される場合(火曜日試験開始)**で作成しています。

考査7日前 (火)	考査6日前 (水)	考査5日前 (木)	考査4日前 (金)	考査3日前 (土)	考査2日前 (日)	考査前日 (月)	考査 1日目	考査 2日目	考査 3日目
考査1日目の学習 3科目 ×2h	考査2日目の学習 2科目 ×2h	考査3日目の学習 3科目 ×2h	考査4日目の学習 2科目 ×2h	考査1・2日目の学習 5科目 ×2h	考査3・4日目の学習 5科目 ×2h	考査1日目の学習 3科目 ×2h	考査2日目の科目の学習	考査3日目の科目の学習	最終日(翌日)の科目の学習

※土・日にどれだけ頑張れるかが鍵。

3 今週の話成語・・・「良薬は口に苦し」

【問題】この話成語「良薬は口に苦し」を英語7単語で表現すると? ※裏面に回答あり。

正しくは『**良薬は口に苦けれども、病に利あり。忠言は耳に逆らえども行いに利あり。**』と言います。意味は、「良薬は口に苦いが病によく効く。忠言は耳に痛いが行いをただすのによく効く。」です。(出典『孔子家語』より)

【由来】出典の『孔子家語』とは『論語』から漏れた、**孔子一門の説話を集めたもの**とされています。その中で、孔子先生の言葉として次のような話が語られています。「**殷の湯王と周の武王**はあれこれ王に忠告する臣下がいたので栄えたが、**夏の桀王と殷の紂王**は唯々諾々と王に従う臣下のみだったので滅んでしまった。君主に、これを諫める臣下なく、父に、これを諫める子なく、兄に、これを諫める弟なく、士に、これを諫める友なければ、過失を犯さずに済む人間などいないのである。だから私はこう言うのだ。君主が道を踏み外した時は臣下がこれを引き戻し、父が道を踏み外した時は子がこれを引き戻し、兄が道を踏み外した時は弟がこれを引き戻し、自分が道を踏み外した時は友がこれを引き戻すのだ、と。こうすれば国家から危険や滅亡の兆しは消え、家からは道徳の乱れという悪が消え、父子や兄弟が道を踏み外すことなく、こうして交友が絶えることがなくなるのだ。」と。忠言に耳を傾けられる人でいたいですね。

4 今週の名言・・・坂村真民氏(熊本県出身)の言葉です。

○よい本を読め よい本によって己れを作れ 心に美しい火を燃やし 人生は尊かったと叫ばしめよ。
○いのちいっぱい生きるのだ 念じ念じて生きるのだ 一度しかない人生を何か世のため人のため 自分にできることをして この身を捧げ生きるのだ。

【解説】「念ずれば花ひらく」の詩で有名な坂村真民氏の言葉(詩)です。豊かな人生を歩むために「**良い本に出会うこと**」、「**世のため人の為に生きること**」の大切さを優しい言葉で語りかけてくれます。武高生良い本との出会いを。

【坂村真民について】日本の仏教詩人。本名昂(たかし)。一遍の生き方に共感し、**癒しの詩人**と言われる。熊本県荒尾市出身。玉名中学校を経て、神宮皇學館卒業。愛媛県砥部町に「**たんぼぼ堂**」と称する居を構え、毎朝1時に起床し、近くの重信川で未明の中祈りをささげるのが日課であった。詩は解りやすい物が多く、小学生から財界人にまで愛された。特に「**念ずれば花ひらく**」は多くの人に共感を呼び、その詩碑は全国に建てられている。(参考:Wikipediaより)

5 今週の一冊・・・門井慶喜の『東京、はじまる』（文芸春秋社）です。

この男がいなければ、今日の東京の風景は、なかったかもしれない。

日本銀行、東京駅、国会議事堂……経済、交通、そして民主政治という近代国家を象徴する建物を次々と設計した明治の建築家・辰野金吾。理想の首都「東京」を作り上げようとする辰野はまさに維新期ならではの超人だった。しかし、超人であるがゆえの破天荒さは周囲を振り回し……。

下級武士から身を立てるべく学問に励み、洋行して列強諸国と日本の差に焦り、恩師ジョサイア・コンドルを蹴落としてでも日本人建築家による首都作りを目指した男の一代記は、今日の風景が生まれるに至った「東京のはじまり」の物語でもあった。（参考：文芸春秋社HP解説より）

【解説】私が読んだ門井慶喜氏の本としては『銀河鉄道の父』『家康、江戸を建てる』に続き、今回が3冊目ですが、読むたびに門井ワールドの、いや門井氏が描く登場人物の虜となっているように思います。新作が出版され、武高図書館で借りて早速読みました。今回の作品の主人公は、故郷武雄の「楼門」や東京の「日本銀行本店」、「東京駅」を設計した唐津出身の「辰野金吾」が主人公となっており、本の帯の「この男、辰野金吾がいなければ、今日の東京の風景は、なかったかもしれない。」というフレーズどおり辰野金吾なる人物に引き込まれていきます。東京駅と楼門の干支のレリーフの謎で一躍有名になりましたが、楼門の干支見学会は朝9：00～10：00（火曜日は休み）に開催されています。是非一度見学してください。この本を読んで、今日誰もが見慣れた著名な建築物の向こう側に秘められたドラマがあったことを、故郷佐賀の一下級武士の家に生まれた辰野金吾がいかにして首都東京の設計・建築界を牽引していくことになるのかを、佐賀県人として是非知ってほしいと思います。佐賀県人として勇気・誇りが湧いてくる一冊です。

【作者・門井慶喜について】1971年群馬県生まれ。2003年「キッドナッパーズ」でオール讀物推理小説新人賞を受賞。16年『マジカル・ヒストリー・ツアー』で日本推理作家協会賞（評論その他の部門）を受賞。18年『銀河鉄道の父』で直木賞を受賞。著書に『屋根をかける人』『家康、江戸を建てる』『定価のない本』『自由は死せず』などがある。他、近代建築を訪ね歩くルポ『ぼくらの近代建築デラックス！』（万城目学氏との共著）、エッセイ集『につぼんの履歴書』、新書『徳川家康の江戸プロジェクト』、ビジュアルブック『日本の夢の洋館』、本郷和人氏との対談『日本史を変えた八人の将軍』など幅広く活躍する。（参考：本書巻末の著者紹介文より）

6 日本全県の名所とスイーツめぐり…第4回は熊本県です。

○名所 （参考：「じゃらんnet」より）

◆菊池溪谷・・・子供たちが小さい時に家族で2度訪れたことのあるところ。決して観光地化していないありのままの自然が満喫できるスポットです。かなり歩くこととなりますので、履物には要注意です。市の中心から東へ17km、阿蘇外輪山の中腹に広がる菊池溪谷は、溪流の織り成す様々な瀬や滝をつくり、その景色はまさに絶景です。春は新緑、夏は天然クーラーの避暑地として、秋は紅葉と、四季をつうじて美しい姿を楽しむことができます。夏に新型コロナウイルス感染が収束していれば、訪れるスポットとしては良い場所になるかもしれません。

◆日本一の石段(釈迦院御坂遊歩道)・・・1度訪れたいと思いながら、まだ行けずにいる場所です。釈迦院は、1200年の歴史を誇り西の高野山と呼ばれる天台宗の名刹です。この表参道の急坂に積み上げられた石段は3、333段。10年の工事の末、昭和63年3月に日本一の石段として完成しました。石段には全国各地の銘石のほか、中国、インド、旧ソ連など世界各国の石が使われています。途中の節目には、ふれあいの広場、小鳥ヶ丘、展望台等が設けられ、九州山脈に続く大自然のたたずまいを満喫することができます。ただここは、高校野球部の冬のトレーニング場としても有名な場所で、下から歩いて上るのには相当な覚悟と忍耐と体力が必要だということも申し添えておきます。

○スイーツ・土産

【いきなり団子】ホクホクのさつま芋と小豆あんを塩味の効いた団子生地で包む、昔から熊本に伝わる郷土菓子で、シンプルだけど味わい深いおやつです。その名の由来は、いきなり（突然）お客さんが来てもすぐに作れるという意味と、生のさつまいもを輪切りにして、いきなり（簡単に）団子で包んで蒸すという意味が重なったものと言われています。

【誉の陣太鼓】「誉の陣太鼓」は、太鼓の形のようなかんでやわらかな求肥を包んだ小豆の香り豊かな一品です。自然な材料のみでつくる匠の味で、付属の紙ナイフで上品に切り分けていただきます。くまもんの絵が描かれたパッケージの「陣太鼓」をお土産にすれば、その見た目だけでも、きっと喜ばれます。日本茶に合う上品な味わいが特徴です。

7 保護者の皆様へ…検温・手洗い・マスク着用が登校の条件となります。

14日（木）からの学校再開の際は、毎朝検温・手洗い・マスクの着用をお願いします。マスクが不足している家庭は、手作りのマスクか、右の写真にあるように既製の使い捨てマスクを覆うカバー（簡単に作れます）を複数枚作って毎日外側だけ取り替えて使用する方法でも結構ですので、必ずマスク着用で自宅を送り出してください。



【表面の問いの答】「Good medicine tastes bitter to the mouth.」

※「medicine」は「薬」、「bitter」は「苦い」。他に「The best advice is the hardest to take.」も同義の表現です。